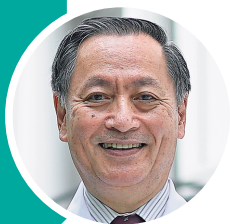


特集

透析室における洗浄・消毒用薬剤の適正管理



編集責任

順天堂大学大学院 医療科学研究科 臨床工学専攻

峰島三千男 *MINESHIMA, Michio*

透析医療の基盤を支える重要な要素の1つが、透析装置およびその配管システムである。透析治療では大量の水を使用するため、配管システムの適切な洗浄・消毒ならびに排水管理が不可欠である。しかし近年、透析関連排水や洗浄・消毒剤の不適切な管理に起因する事故が散発的に報告されている。そこで本特集では、改めて洗浄・消毒剤および透析排水の適正管理について整理し、そのあるべき姿を再確認することを目的とした。

第I章では、洗浄・消毒剤の管理について取り上げた。まず、洗浄・消毒剤の基本と最近の動向について星野武俊先生(イムス三芳総合病院)に解説いただいた。続いて、次亜塩素酸ナトリウムと酸性薬剤の混合に伴う塩素ガス発生事故への対策について安藤勝信先生(練馬光が丘病院)に執筆いただき、さらに村井美穂子先生(岩手医科大学附属病院)には洗浄剤に関する医療安全教育の重要性について解説いただいた。いずれも実践的で理解しやすい内容であり、読者各位におかれては、自施設の管理体制を見直す契機としていただきたい。

第II章では、透析排水の適正管理を取り上げた。下水道供用区域における透析排水管理について福田宗昭先生(東京都下水道局)に、また下水道未整備地域における浄化槽を中心とした排水管理について仁木圭三先生[(公財)日本環境整備教育センター]に解説いただいた。さら

に、医療現場における透析排水管理の実際と留意点について内野順司先生(みはま病院)に、中和装置および中性洗浄剤を中心とした最新の排水管理手法について安部貴之先生(東京女子医科大学)に執筆いただいた。

第III章では、在宅血液透析における薬剤・排水管理を取り上げた。患者宅における薬剤管理および排水管理の在り方について前田兼徳先生(兼愛会前田医院)に、また下水道供用区域外における在宅血液透析の実際について前澤利光先生(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター)に解説いただいた。在宅血液透析は患者の生活様式に合わせた柔軟な治療を可能とする一方で、薬剤管理や排水管理に関する課題が普及を妨げる要因の1つとなっている。

第IV章では、メーカーの立場から見た対応について取り上げた。透析装置メーカーが果たすべき役割と推奨洗浄剤への対応について立花英幸様[(一社)日本医療機器テクノロジー協会]に、JIS規格を含めた透析装置に求められる洗浄剤の要件について飯川雄大様[アムテック(株)]に、さらに排水基準や環境への配慮を踏まえた洗浄剤設計について圓城寺喬様[アイヴィエスホールディングス(株)]に執筆いただいた。

本特集が、透析医療に携わる臨床工学技士をはじめとする医療従事者の理解を深め、安全で質の高い透析医療の実現と環境負荷低減の両立に向けた取り組みの一助となれば幸いである。